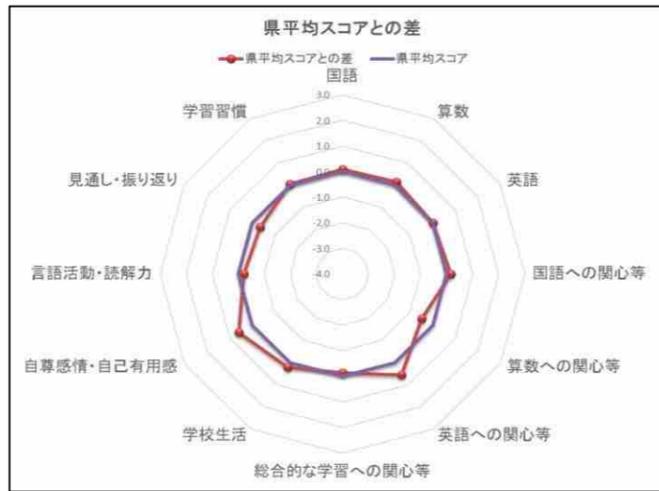


平成30年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立中央小学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○話し手の意図をとらえながら聞く力がついている。 ○表現を工夫して書いたり、目的に応じて書いたりする力がついている。 ●描写をとらえて読んだり、複数の叙述を比べながら表現の違いに着目して読んだりする力が十分でない。	・朝読書の時間や「おすすめ本」の読み進め、家庭での読書時間の確保などにより、優れた描写やさまざまな叙述に触れるようにする。 ・主語と述語のつながりや修飾、被修飾の関係について正しくとらえて読んだり、描写をもとに登場人物の相互関係や心情をとらえたりするような学習を積み重ねていく。
	算数	○小数の掛け算、割り算、異分母分数の計算技能は身につけている。 ●小数の足し算の計算、乗法、除法の意味理解が十分でない。 ●直方体についてや合同な図形の性質について十分に理解できていない。	・問題解決をする過程で、数量関係をとらえ、それを図や数直線などに表す活動を位置づけ、計算の意味理解ができるようにする。 ・図形についての観察や構成などの活動を十分に行い、構成要素や位置関係を理解できるようにする。
6年	国語	○相手の発言の意図をとらえて、自分の立場を明確にして話す力がある。 ○読み手に分かりやすい表現を工夫して書くことができる。 ●複数の文章を読み、内容の違いをとらえて簡潔にまとめる力が十分ではない。	・好みに触れる図書に偏りが出ないように、読書指導を行う。 ・目的に応じて複数の本を手取るようにし、書き手によって人物や事実のとらえ方が異なることがとらえられるようにする。 ・文章から感じ取られることの根拠となる叙述をあげて、その理由を説明する機会を授業の中でつくっていく。
	算数	○小数や分数の計算力がある。 ○小数の乗法について理解している。 ●円を使ってできる正多角形について十分に理解できていない。 ●まちがいを説明するなどの力が十分ではない。	・図形についての観察や構成などの活動を十分に行い、図形の構成要素や性質を理解できるようにする。 ・複数の情報を関連づけて論理的に思考し、それを適切な方法で(図や式などを用いて)説明する活動を十分に行う。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	65	58
	松江市	63	55
	島根県	63	55

受検者数
5年生 62人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	72	65
	松江市	69	60
	島根県	67	59

受検者数
6年生 57人

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

平成31年2月15日

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○授業の中でめあてがはっきりと示され、それをノートに書きふりかえりも適切にできている。 ○自分の考えを発表したり、友達と話し合いながら考えを深める活動ができている。 ●算数の学習への関心がやや低い。自分の考えを説明するのも苦手と感じている。	・学習問題の解決の過程を大切にし、わかる喜びが感じられる授業づくりをする。 ・活用の場面を具体的にとらえ、暮らしの中で算数で学んだことを活用する機会を増やす。 ・関係図や線分図などを適切に使って説明する方法が身につくよう指導を重ねていく。
	家庭学習に関わる事項	○宿題は、ほとんどの児童がきちんと取り組んでおり、教師はそれを丁寧に見てくれると受け止めている。 ●自分から計画を立てて、予習や復習をしている児童は、半数程度にとどまっている。	・自学への取り組み方に工夫がある児童を紹介するなどして、効果的な取り組み方を具体的に指導していく。 ・放課後の時間の使い方(メディア利用など)と合わせながら、個別に指導していく。
6年	授業改善に関わる事項	○授業の中でめあてがはっきりと示され、それをノートに書きふりかえりも適切にできている。 ○自分たちで課題を立て、解決のための情報を集め整理し、発表する活動に取り組んでいる。 ●算数の学習への関心がやや低い。自分の考えを説明するのも苦手と感じている。	・学習問題の解決の過程を大切にし、わかる喜びが感じられる授業づくりをする。 ・活用の場面を具体的にとらえ、暮らしの中で算数で学んだことを活用する機会を増やす。 ・関係図や線分図などを適切に使って説明する方法が身につくよう指導を重ねていく。
	家庭学習に関わる事項	○宿題は、ほとんどの児童がきちんと取り組んでおり、教師はそれを丁寧に見てくれると受け止めている。 ●自分から計画を立てて、予習や復習をしている児童は、半数程度にとどまっている。	・自学への取り組み方に工夫がある児童を紹介するなどして、効果的な取り組み方を具体的に指導していく。 ・放課後の時間の使い方(メディア利用など)と合わせながら、個別に指導していく。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

